

令和4年度 第3回士別市中央公民館運営審議会議案

【日 時】 令和5年3月23日（木） 午後4時～

【会 場】 士別市民文化センター2階 会議室1

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 議 事

(1) 令和4年度 士別市中央公民館事業の実施状況について

(2) 令和5年度 士別市中央公民館事業の予算について

(3) 令和5年度 公民館講座について

(4) その他

4. 閉 会

【添付資料】

- 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画 . . . 資料1
- 令和4年度 分館事業報告 . . . 資料2
- 令和5年度 中央公民館予算 . . . 資料3

中央公民館事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	R4実績			R5計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
1. 生涯学習推進事業										
(1) 公民館講座推進事業										
	公民館講座	中央公民館	現代社会に即応した各種講座を開催し、既存文化団体の育成や新たなサークルの結成を促進するとともに、市民活動や文化活動を通じて市民交流を図る。	市民	3講座 延べ104名	148	①「睡眠」と「健康」の知恵袋 6/21、7/12 延べ12名 ②多肉植物の寄せ植え 9/13、20 延べ26名 ③スマホのスキルアップセミナー 2/18、19、25、3/5 延べ66名 ④大人の文化体験 3/20、3/23、3/25、3/29 実施予定 【成果】 一部の講座の開催時間を夜間のみではなく昼間の時間帯も取り入れたところ、参加しやすいとの意見があり、参加者の需要に応えることができた。 【課題】 1回完結型の講座とせず、複数回を1講座として実施する講座を増やす必要がある。また、毎年同じ内容を実施しないことが必要。 教材を事前に準備する事業である場合、直前のキャンセルについてはできないことをもっと周知すべきだったと考える。	4講座 60名	370	
(2) 子ども文化活動推進事業										
	しべつ土曜子ども文化村 職業体験館	社会教育課	土曜日に子どもたちに職業体験の機会を提供する。	小学4～6年生	延べ36名	14	新聞記者、警察官、金融機関、建設業、消防士、羊飼いの職業体験を実施。 【成果】 市広報に参加児童の感想や、撮影した写真を掲載。感想を真剣に考えたり、積極的に質問するなど、意欲的に学習する姿が見られた。 【課題】 市街地校の児童しか参加していなかった。	延べ90名	103	「農業」「観光業」など、ふるさと士別に根ざした職業体験を実施予定。
	しべつ土曜子ども文化村 文化体験館	中央公民館	芸術や文化を愛する心を育て、豊かな情操を養う。	小学4～6年生	延べ52名	100	「バルーンアート」「政和アートFES」「ミニ畳づくり」「油絵体験」「将棋体験」を実施。 【成果】 文化芸術活動などの体験を通して、伝統文化の魅力や歴史を学び子どもの健全育成が図られた。 【課題】 内容がものづくりに偏ってしまった。	延べ90名	130	音楽活動を取り入れる予定。
	しべつ土曜子ども文化村 ふるさと自然歴史体験館	博物館	有意義な土曜日を過ごすため、地域人材を活用し、文化活動を中心とした体験活動を提供する。	小学4～6年生	延べ49名	86	士別歴史たんけん、昆虫採集、川の生き物さがし、川の生き物探し(トヨタ特別会)、勾玉づくり体験、科学体験、雪と氷の実験を実施。 【成果】 活動をとおして地域の歴史や自然を学び、ふるさとへの理解や関心を深めることができた。 【課題】 振り返りで子どもたちにとってどのような学習があったのかを集計してはいるが、その後の実際の子どもの変化については見えにくい。	延べ90名	136	「士別歴史たんけん」「昆虫採集」「川の生き物さがし」「勾玉づくり体験」「科学実験」「雪と氷の実験」
(3) 高齢者学習推進事業										
	学び舎「つくも」 九十九大学	中央公民館	「集い・学び・交流」をとおして高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、同世代の広い繋がりを構築することを目的として、基礎講座と自主企画活動を実施する。 なお、九十九大学は、本事業と統合して実施する。	60歳以上の市民	77名	518	基礎講座3コース(北海道学・教養・くらし)を各9講座、計27講座実施済。 自主企画活動は3団体(コーラス、スマホ教室、つくも親睦会)が活動。 定員80人に対し、登録者数77人(大学関係7人、他登録70人)。 【成果】 登録者へのアンケート結果から、各講座に対する評価は比較的高く、対象者のニーズに沿った事業を展開できたと推察する。 【課題】 座学形式の基礎講座が多くなってしまったため、体験型の比率を増やす必要があると考える。	80名	878	体験型講座の比率を増やして、講座内容を編成予定。
(4) チャレンジスクール補助事業										
	チャレンジスクール補助事業	中央公民館	望ましい生活習慣・学習習慣定着を目指して、3泊4日の宿泊体験活動を実施する。	小学4年生		0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	20名	420	10月上旬に実施予定。

中央公民館事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	R4実績			R5計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
2. 市民学習自主企画支援事業										
(1) 市民自主企画事業 (マイプラン・マイスタディ)										
	市民自主企画事業 (マイプラン・マイスタディ)	中央公民館	市内の各種団体やサークルが、市民を対象に自主的に企画した学習事業費の一部を支援し、学習機会の拡大及び団体等の活性化を図る。 対象：市民団体等	市民団体等	4 団体 68名	18	○姉崎久志氏講演会実行委員会 5/22 13名 ○初心者フラダンス体験会 6/23、30 延べ25名 ○サップに乗って親子で水上散歩 7/31 12名 ○いつまでも快適な動ける身体づくりトレーニング 2/19 18名 【成果】 市民団体の活性化、学習意識の向上が図られた。 【課題】 単発の事業にとどまることなく、団体等の自立に繋げることが課題。	8 団体 120名	227	
3. 市民総合文化祭事業										
(1) 市民総合文化祭										
	市民総合文化祭中央地区会場	中央公民館	市民が日常で取り組む文化活動の学習成果の発表と作品を鑑賞する機会を提供するために市民総合文化祭を開催し、市民の文化活動に対する意識を高め、地域文化の向上を図る。	市民団体等 小・中・高校生	2,000名	213	○作品展示 27団体4個人673点 ○芸能発表 19団体1個人 土教研と翔雲高校の協力を得て児童生徒作品展示をいぶきにて実施、併せて土曜子ども文化村にて制作した絵画を展示した。 ○小学生135点 中学生48点 高校生38点 文化村12点 合計233点 【成果】 コロナの影響から参加団体は少なかったが、文化芸能の発表機会の創出及び活動の推進が図られた。 【課題】 参加団体の固定化・高齢化が課題。	作品展 1,500名 芸能発表 500名	330	感染症対策に留意し実施予定。
4. リーダー養成事業										
(1) 子ども会活動推進事業										
	子ども会リーダー養成講習会	中央公民館	リーダーとして必要な基礎知識や技術の向上、さらには野外での体験活動とおして、多くの経験と知識を身につけ、リーダーとしての資質向上を図る。1市2町と共催。	小学5・6年生	-	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	10名	5	
	子ども会リーダー SINC交流研修会	中央公民館	SINCリーダーとしての指導力向上と仲間との交流を行う。	子ども会リーダー クラブ「SINC」	-	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	3名	0	
	1市2町合同 ジュニアリーダー研修会	中央公民館	1市2町の児童が体験学習や交流をおして、リーダーとして必要な知識や技術の向上と児童間交流の促進を図る。	小学5・6年生	2	4	当初全3回を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回の実施となった。 ・6/18 I期(土別参加者2名) 【成果】 体験活動を通して、リーダーとして必要な知識・技能を習得し、他町児童との交流を通して資質向上を図ることができた。 【課題】 事業の延期により、募集のたびに参加希望者が減少したため、感染症の拡大状況を考慮し、開催を確実にしてからの募集を心がけるべきだった。 また、サブリーダーの確保が難しい状況である。	3回 延べ39名	58	令和5年度は3回実施を予定。 年3回の内、2回を日帰りを実施予定。 夏の野外研修のみ、宿泊形式で実施予定。 第1回 剣淵町 第2回 土別市 第3回 和寒町
	他市町子ども会リーダー交流事業	中央公民館	他市町リーダー研修会に参加し、子ども達の交流の輪を広げ、子ども達の成長を図る。	子ども会リーダー クラブ「SINC」	-	0	当初は、11月に実行委員会、翌年3月に研修会の実施を予定していたが、各市町のリーダー活動が停滞しており実施できる状況にないことから中止となった。	3名	74	
5. 子どもまちづくり参画事業										
(1) 子ども議会開催事業										

中央公民館事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	R4実績			R5計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
	子ども議会開催事業	中央公民館	市内中学生の「まちづくり」への興味・関心を育み、子どもの自由な発想を生かした意見・要望を市政に反映させる。	中学生	7名	87	学習会(全5回)、本議会を開催(子ども議員7名 12月21日開催) 報告会は、令和5年2月28日実施。 【成果】子どもたちが調査・研究をとおり、市政に興味を持ち、自らの資質向上が図られた。感想として自信がついたなど前向きな感想が得られた。 【課題】年度スケジュールとしては余裕を持って取り組めたが、質問通告書作成時期の期間が短く、事前の準備に工夫の余地があると感じた。質問通告書作成時期は個別に活動するため、中間発表の場として子ども議員が集まる場を作りたいと考える。	8名	165	
(2) こども夢トーク推進事業										
	こども夢トーク事業	中央公民館	子どもたちが市長と夢や未来への希望を語り、好奇心・探究心を高め、子どもたちの持つ豊かな可能性を広げる。	士別中学校生徒	士別中学校 7名 多寄小学校 8名	18	○士別中学校 令和4年11月30日 ○多寄小学校 令和5年2月21日 18【成果】子ども議会との差別化を図るため、市長と直接語ることに重点を置き、ディスカッション形式に変更した。 【課題】	3校 30名	36	士別小学校、温根別小学校、上士別小学校で実施予定。
6. 団体育成・支援事業										
(2) 子どもの体験活動の充実と望ましい生活習慣の定着(社会教育課・中央公民館)										
	子ども会育成連絡協議会補助事業費	中央公民館	子ども会の事業を推進する士別市子ども会育成連絡協議会に対し、運営事業費の一部を補助する。	士別市子ども会育成連絡協議会	1回	300	当初700千円の補助予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した「しべつわんぱくフェスティバル」「北海道かるた大会」等の補助金額を減額予定。 【成果】市の地域子ども会育成会との連絡調整を図った。 【課題】新型コロナウイルス感染症状況下における事業のあり方、少子化に伴う参加者の減少。	1回	700	
7. 中央公民館分館事業										
(1) 中士別分館										
	中士別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	31講座	96	実績は、別紙の通り 【成果】各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【課題】講座内容の固定化、参加者数の減少。	25講座	127	
(2) 下士別分館										
	下士別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	2講座	70	実績は、別紙の通り 【成果】各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【課題】講座内容の固定化、参加者数の減少。	3講座	127	
(3) 武徳分館										
	武徳分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	6講座	96	実績は、別紙の通り 【成果】各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【課題】講座内容の固定化、参加者数の減少。	5講座	127	

令和4年度 事業報告（活動報告済分）

資料2

分館名 中土別分館

事業名	新規 継続	主催後援	実施 期日	会 場	対象	回数	参加 人数	決算 (千円)	事業概要等
民謡講習会	継続	主催	4～10月 平均2回	自治会館	一般	24	96	69	講師：長谷川キク
パークゴルフ講習会	継続	主催	7～11月	多寄農村広場PG場 天塩川PG場 他	一般	7	71	21	講師：谷村 隆俊
長寿番付	継続	主催	12月1日	—	一般	1	—	—	中土別町民75歳以上を対象としその確認と把握 男女年齢別で番付
分館だより	継続	主催	12月16日	—	一般	1	—	—	分館活動報告と案内
事務消耗品購入	継続	—	—	—	—	—	—	6	事務消耗品の購入
合計								96	

分館名 下土別分館

事業名	新規 継続	主催後援	実施 期日	会 場	対象	回数	参加 人数	決算 (千円)	事業概要等
しめ縄飾り講習会	継続	主催	12月27日	下土別二之宮八幡神社	一般	1	14	10	自治会と分館との合同広報誌発行
下土別パークゴルフ講習会	継続	主催	6月5日	天塩川緑地PG場	一般	1	19	15	PGの技術向上及び健康維持促進を図る。 講師：村上 昭治・足利 雅幸・今野 和史
事務消耗品購入	継続	—	—	—	—	—	—	45	事務消耗品の購入
合計								70	

令和4年度 事業報告（活動報告済分）

分館名 武徳分館

事業名	新規 継続	主催後援	実施 期日	会 場	対象	回数	参加 人数	決算 (千円)	事業概要等
広報「武徳」の発行	継続	武徳分館 武徳自治会	通年	—	—	11	—	—	武徳町内の情報発信を目的に発行
食生活改善栄養講座	新規	武徳分館 武徳女性部	11月18日	武徳会館	一般	1	8	15	適正体重を維持するための栄養講座 講師：鈴木直美、田邊裕子
料理講習会	新規	武徳分館 若妻会	1月12日	武徳会館	一般	1	11	15	健康の保持・増進 講師：石橋房枝、山岸由美
ストレッチ講習会	継続	武徳分館 女性部	1月16日	武徳会館	一般	1	11	7	健康の保持・増進 講師：三浦美加
卓球ルール講習会	継続	武徳分館 女性部	1月16日	武徳会館	一般	1	11	8	健康体力の維持を目的に卓球の実践 講師：溝淵和恵
手づくり宝石石鹸	継続	武徳分館 若妻会	1月25日	武徳会館	一般	1	9	15	気軽に楽しめる石けんづくり 講師：山崎さくら、佐々木陽子
体幹トレーニング講習	継続	武徳分館 スポーツ愛好会	1月30日	武徳会館	一般	1	9	8	体幹を鍛える 講師：田辺裕子
事務消耗品購入	継続	—	—	—	—	—	—	28	事務消耗品の購入
合計								96	

事業名	令和4年度		令和5年度	
	主な事業内容	予算額	予算編成の主な変更点	予算額
公民館講座推進事業	*「睡眠」と「健康」知恵袋 * 多肉植物の寄せ植え * スマホのスキルアップセミナー * 大人の文化体験	370千円	特になし	370千円
子ども文化活動推進事業	*しべつ土曜子ども文化村(職業体験館) *しべつ土曜子ども文化村(文化体験館) *しべつ土曜子ども文化村(ふるさと自然歴史体験館)	394千円	特になし	369千円
高齢者学習推進事業	* 学び舎つくもの運営 ①基礎講座(3コース) ②自主企画活動	874千円	特になし	878千円
チャレンジスクール補助事業	* チャレンジスクール実行委員会への事業補助(予算は社会教育課)	420千円	特になし	420千円
市民自主企画事業 (マイプラン・マイスタディ)	* 市内団体及びサークルの自主学習活動への支援	227千円	特になし	227千円
市民文化芸術推進事業 (中央地区)	* 士別市民総合文化祭の企画運営	330千円	特になし	330千円
子ども会活動推進事業	* 1市2町合同ジュニアリーダー研修会 士別・剣淵・和寒を会場に各1回実施	335千円	(令和4年度)宿泊×3回での実施から(令和5年度)日帰り×2回+宿泊1回へ変更したことによる負担金の減	221千円
士別市子ども会育成連絡協議会補助事業	* 士別市子ども会育成連絡協議会への運営補助	700千円	特になし	700千円
子ども議会開催事業	* 子ども議会の開催	170千円	特になし	165千円
子ども夢トーク推進事業	* こども夢トークの開催	36千円	特になし	36千円
分館事業(中士別・下士別・武徳分館)	* 講師謝礼・教材費	383千円	特になし	383千円
合計		4,239千円		4,099千円